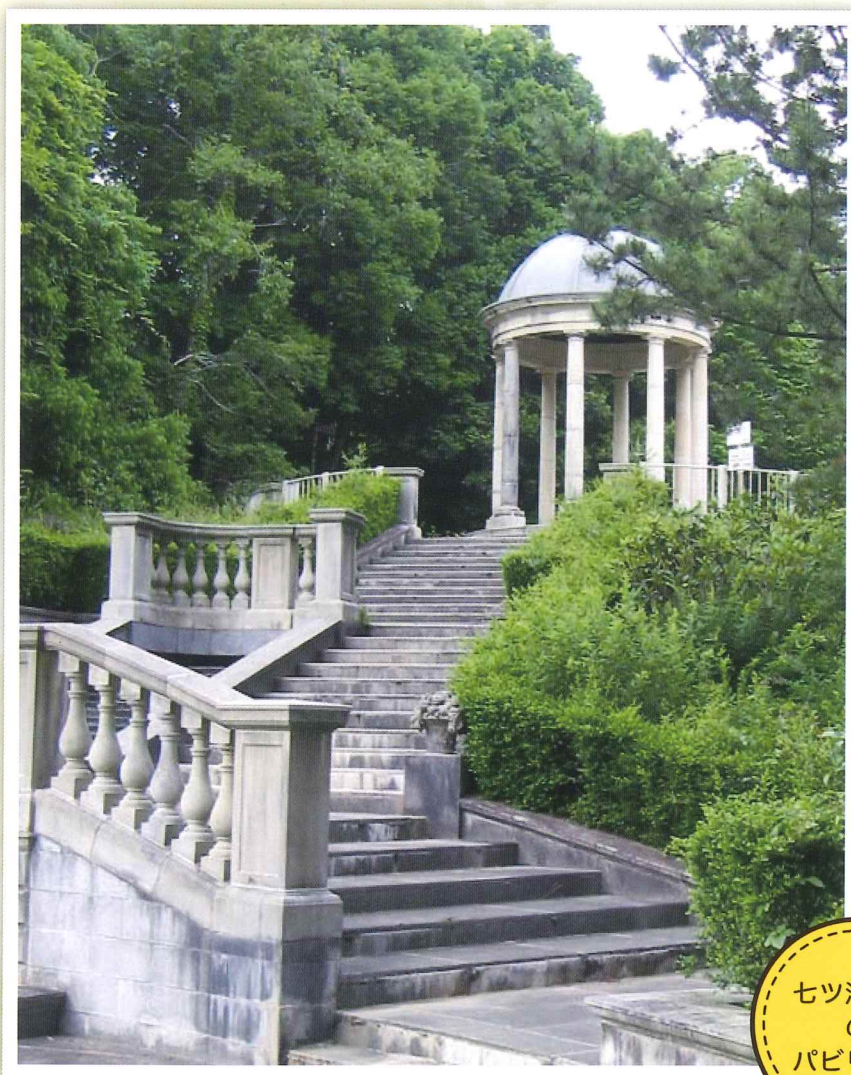


第二次コミュニティプラン

# 住みよい国田の まちづくり



七ツ洞公園  
の  
パビリオン

国田地区自治実践会

令和8年3月策定

## 【住みよい国田のまちづくり計画】改定に当たって

平成25年3月に策定しましたコミュニティプラン「住みよい国田のまちづくり総合計画」にもとづき、私たちが住んでいる国田の地域づくりのビジョンを示して様々な取り組みを進めて参りました。

当初のコミュニティプラン策定から13年が経過し、令和7年度から水戸市の第7次総合計画～水戸・魁・Nextプラン～がスタートしたのに合わせて、新たにコミュニティプランを見直し、今後10年程度を見すえて新たな取り組みとしてまとめることになりました。

私たちをとりまく環境は、少子高齢化や人口減少がさらに進んでいますが、お互いを思いやり、ともに支え合って安心して暮らせる地域社会づくりをめざして地域が自ら学び、課題解決に向けて活動し、よりよい地域づくりに取り組んでいかなければなりません。

そこで、長期的視点に立って以下の4つのまちづくりの目標をかかげ、豊かで活力のある地域づくりを目指して地域コミュニティ活動を進めます。

- 【1】安全・安心なまち
- 【2】環境にやさしいまち
- 【3】健康・福祉と子育て支援のまち
- 【4】楽しく生きがいのあるまち



## 【住みよい国田のまちづくり計画】活動方針

### 【1】安全・安心なまち

地域住民の安全や財産を守るため災害・水害に対処するとともに、防災、防犯の意識啓発に努めます。また子どもたちが交通事故に合わないよう県道の拡幅の整備を進めます。



◀常磐高速道路下の浸水防止施設の擁壁と陸閘

陸閘とは、通常時は通行できるように途切れているが、洪水時には水が浸入してこないようなゲートのこと。

#### ～具体的な取り組み～

- (1) 国田地区防災対策会の適切な運営
- (2) 防災防犯に関する意識啓発
- (3) 防災訓練の実施
- (4) 県道長沢水戸線の道路拡幅の促進
- (5) 原子力災害時の避難対策への対応

## 【2】環境にやさしいまち

年間を通して資源ゴミの回収やゴミの減量化につとめ、花いっぱい運動の推進や清掃活動に心がけ、国田地区の豊かな自然をはぐくみます。

#### ～具体的な取り組み～

- (1) 資源ゴミ回収の推進
- (2) 花壇コンクールの実施
- (3) 那珂川クリーン作戦の実施
- (4) 不法投棄の監視体制の推進
- (5) 地区・学校でのホタルの保護活動



▲セブンイレブン前の花壇の整備(国田の道路をきれいにする会)

## 【3】健康・福祉と子育て支援のまち

国田地区は少子高齢化がすすんでいます。地域のふれあいを大切にした生き生きと暮らせる「福祉のまち」と学校・幼稚園と連携した「教育のまち」をめざします。



#### ～具体的な取り組み～

- (1) 子ども農業体験を通じた探究活動の推進
- (2) ホタル観察会の実施
- (3) **新** 子育て広場の運営
- (4) **新** 子どもに居場所を提供する「子どもスペース」の支援
- (5) 福寿のつどい(社協共催)
- (6) **新** 国田小中学校跡地を利用した子育て世帯の居住推進

※**新**は第二次コミュニティプランであらたに追加した項目



▲三の丸地区との協働事業



▲福寿のつどい



▲国田まつり(撒き菓子)

## 【4】楽しく生きがいのあるまち

健康で楽しく、生きがいのある人生を送るには、住民一人一人自分の生活を大切にしなが地域の中でいかに他との交流を図り、様々な活動に携わっていけるかが大切になってきます。

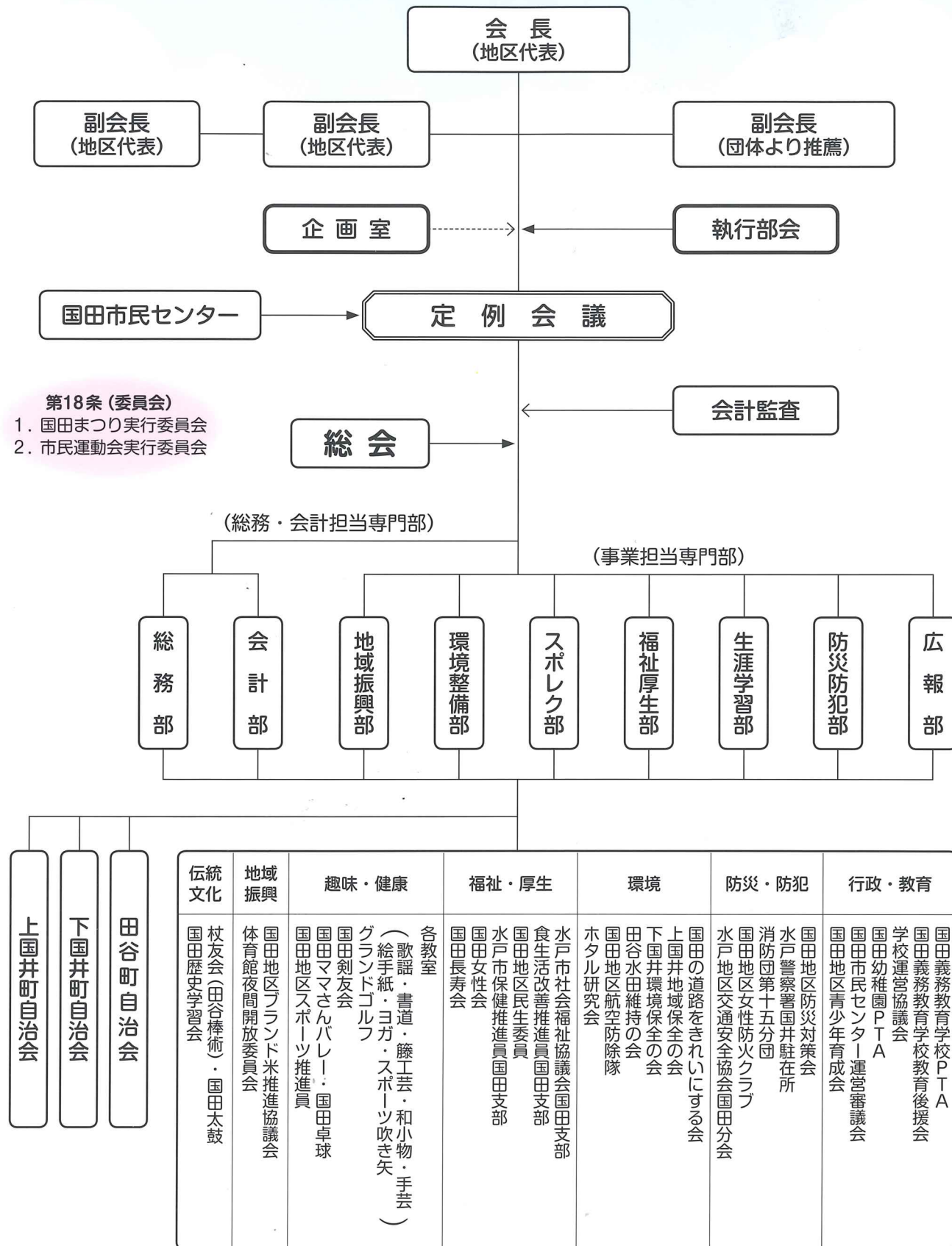


市民センターの各種教室やスポーツを通じてコミュニケーションを高めるまちづくりをめざします。

#### ～具体的な取り組み～

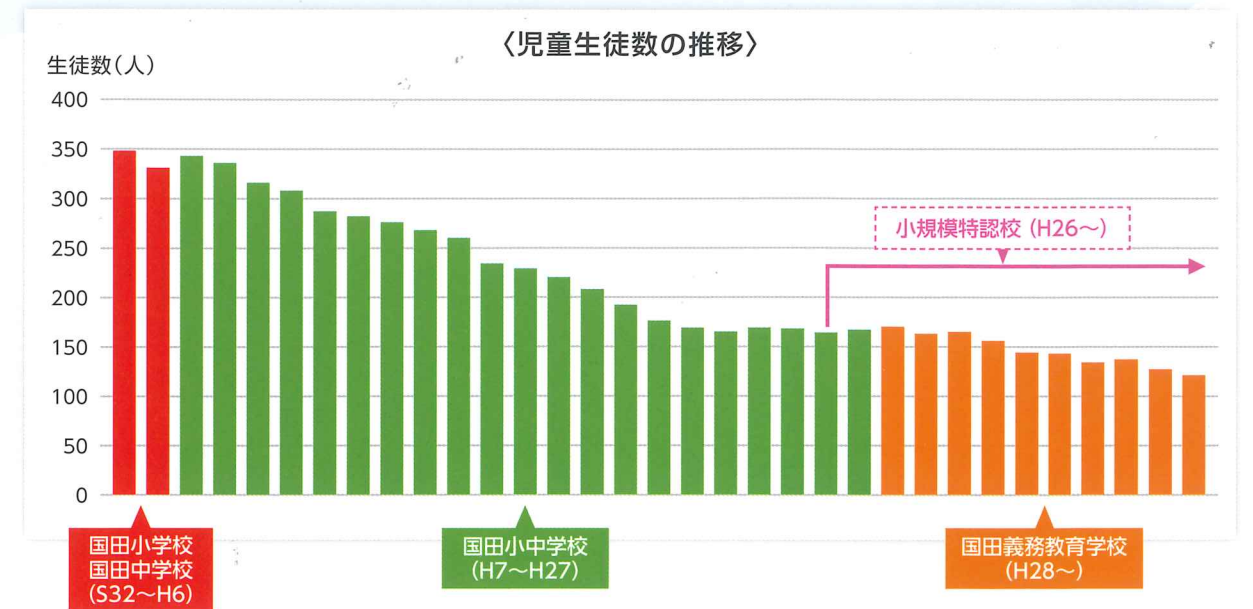
- (1) 国田まつりの実施
- (2) 市民運動会、歩く会等の実施
- (3) セツ洞公園イベントの開催
- (4) 伝統文化の保存・継承(国田太鼓、田谷棒術)
- (5) 歴史的遺産の伝承
- (6) 郷土かるた大会の実施

# 国田地区自治実践会は、国田地区の各種団体と連携・協力してコミュニティ活動を推進しています



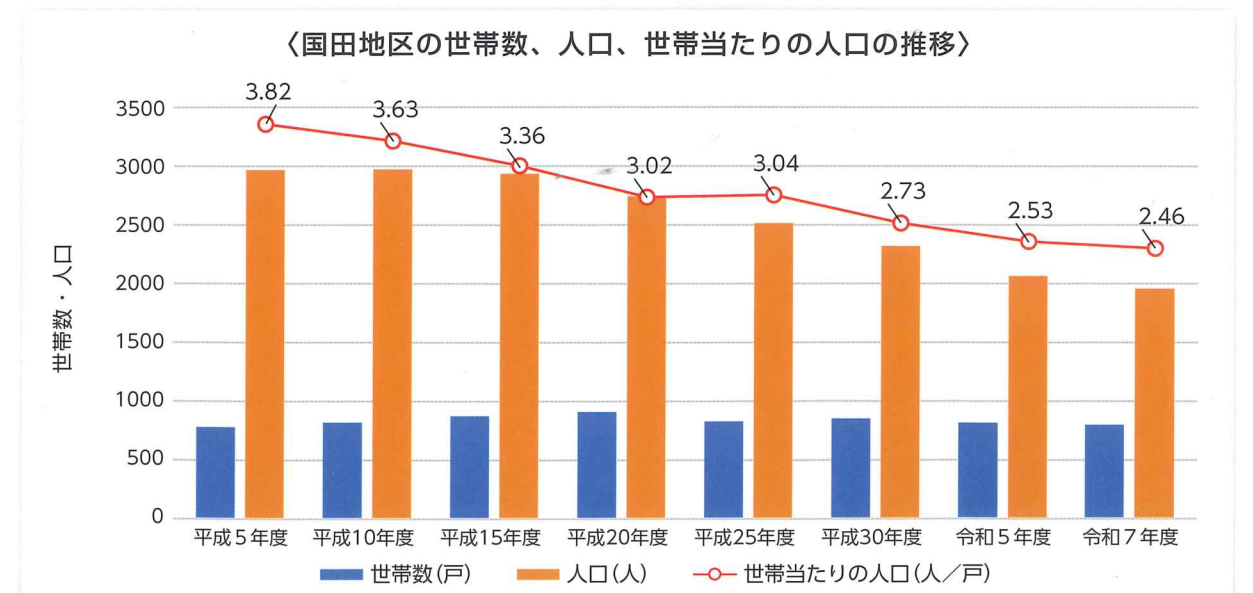
# 数字でみる国田地区の推移

## 1. 国田小中学校・国田義務教育学校の児童生徒数の推移



## 2. 国田地区の人口および世帯数の推移

		平成5年度	平成10年度	平成15年度	平成20年度	平成25年度	平成30年度	令和5年度	令和7年度
上国井町	世帯数(戸)	249	271	288	311	256	266	245	242
	人口(人)	950	958	997	947	838	763	682	643
下国井町	世帯数(戸)	252	254	270	279	254	265	260	250
	人口(人)	956	929	874	805	739	681	623	589
田谷町	世帯数(戸)	276	293	315	318	316	317	309	304
	人口(人)	1,060	1,084	1,062	988	935	873	757	724
合計	世帯数(戸)	777	818	873	908	826	848	814	796
	人口(人)	2,966	2,971	2,933	2,740	2,512	2,317	2,062	1,956
	1世帯当たりの人口(人/戸)	3.82	3.63	3.36	3.02	3.04	2.73	2.53	2.46



← 大子方面

水戸市街地方面 →

- 上国井地区**
- 1 三国の滝
  - 2 軍民坂と湧水
  - 3 国井氏と安川城跡
  - 4 大井戸
  - 5 水戸北飛行場跡
  - 6 一里塚
  - 7 赤沼山薬師寺

- 田谷地区**
- 1 田谷城跡
  - 2 河内駅家跡
  - 3 田谷の無比流棒術
  - 4 田谷小学校跡
  - 5 白石城跡
  - 6 田谷廃寺跡

- 下国井地区**
- 1 国井小学校跡
  - 2 国田小学校跡
  - 3 国田村役場跡
  - 4 忠霊之碑
  - 5 渡辺八郎記恩碑
  - 6 権現山古墳と七ツ洞横穴古墳群
  - 7 小場江用水路
  - 8 国田の渡し跡

**国田地区 魅力再発見MAP**



# 国田地区歴史年表

和暦	西暦	できごと
寛永12	1635	「水戸領郷高帳先高（みとりょうごうだかちょうさきだか）」に国井村と田谷村が併記されている。
寛永18	1641	検地が実施され、国井村が上国井村、下国井村に別れる。
寛永21	1644	「御知行割郷帳（おんちぎょうわりごうちょう）」に上国井村、下国井村が併記されている。
明暦2	1656	水戸藩初代藩主徳川頼房が新田開発のため、家臣の永田茂衛門と勘衛門父子に用水路「小場江」の建設を命じ、下江戸付近に堰を作り、那珂郡武田付近にあった武田溜（ため）までの5里の水路を完成させた。
明治6	1873	民営の「田谷小学校」が田谷村102番地に設立される。
明治8	1875	下国井村の春日天満神社脇の御稗倉（おひえくら）を利用して「国井小学校」が開設される。
明治22	1889	市制・町村制の施行により、水戸市が誕生するとともに上国井村・下国井村の「国」と田谷村の「田」を組み合わせ、那珂郡「国田村」が誕生、国田村役場が下国井村庄司226番地におかれた。また、学区改正により、田谷小学校と国井小学校が合併して国田尋常小学校が誕生し、下国井村元内669番地に1棟2教室の校舎が新築された。
明治25	1892	高等科を併設するため校舎1棟（2教室）を増築し、国田尋常高等小学校に改称される。
昭和16	1941	太平洋戦争が始まり、戦時下により「国田国民学校」に改称される。台風8号の豪雨により、那珂川が氾濫し浸水被害が発生する。
昭和20	1945	第二次世界大戦が終戦となる。
昭和22	1947	教育基本法が公布され、那珂郡国田村立国田小学校に新たに国田中学校が設置された。カスリーン台風の豪雨により那珂川が氾濫し浸水被害を受ける。
昭和32	1957	市町村合併促進法が昭和26年に公布され、国田村が水戸市に合併となり上国井町、下国井町、田谷町が誕生し、水戸市立国田小学校、水戸市立国田中学校に改称される。
昭和36	1961	台風6号と梅雨前線による豪雨で那珂川に洪水が発生し、浸水被害を受ける。
昭和39	1964	東京オリンピック開催。新たな学校用地の買収地に2階建ての中学校プレハブ校舎が完成する。
昭和49	1974	茨城国体が開催される。
昭和50	1975	国田小学校の創立100周年記念式典が開催され、記念碑の設置とタイムカプセルの埋設が行われ、50年後の2025年に開封されることとなった。また、新たに国田幼稚園が開設された。
平成元	1989	水戸市が市制100周年を迎える。
平成7	1995	国田小学校と国田中学校が小中併設校となって現在地の新校舎に移転し、開校記念式典を行う。
平成8	1996	「水戸市住みよいまちづくり協議会」が新たに発足し、加盟した国田地区自治実践会の初代会長に高安秀明が平成10年まで就任する。
平成11	1999	国田地区自治実践会の第2代会長に江幡勇が平成16年まで就任する。
平成16	2004	小中学校併設10周年式典が開催される。
平成17	2005	国田地区自治実践会第3代会長に宮田静が平成25年まで就任する。「水戸市国田地区・三の丸地区友好交流地域連携」の合意書が締結される。
平成18	2006	第1回国田夏祭り開催される。地域連携事業として第1回の田植え事業が始まる。
平成23	2011	東日本大震災（3/11）で水戸市は震度6弱を観測、国田橋が不通、断水、停電、多くの屋根・塀が損傷を受け、国田夏祭りが中止となる。第一次コミュニティプラン「国田の住みよいまちづくり計画(概要版)」が作成される。
平成26	2014	国田幼稚園が国田小中学校がある現在地に移転、小中学校が小規模特認校に指定される。国田地区自治実践会第4代会長に小田倉康家が就任する。
平成27	2015	小中併設20周年式典が開催される。国田地区・三の丸地区地域協働事業が10周年となる。
平成28	2016	「国田義務教育学校（さわやか国田学園）」がスタートする。
令和元	2019	2回目の茨城国体が開催される。10月の台風19号により那珂川が溢水氾濫し、国田地区に浸水被害が発生し、市民運動会が中止となる。浸水防止対策のため国交省による「那珂川緊急治水対策プロジェクト」がスタートする。
令和2	2020	校歌「さわやか国田の子」策定。旧学校校庭に水害のゴミ集積のため国田夏祭りが中止となる。
令和3	2021	新型コロナ蔓延のなか東京オリンピック開催されるが、国田地区自治実践会の行事はすべて中止される。
令和5	2023	国田夏祭りの開催を夏から秋に移行し、生涯学習フェスティバルと併催に変更となり、第14回目の新生の「国田まつり」がスタートする。
令和7	2025	国田・三の丸地域協働事業20周年記念事業として国田まつりにおいて国田三町の神輿展示、三の丸地区の東照宮山車を展示し、お囃子を演奏する。国田小学校150周年記念（タイムカプセルの開封）、国田義務教育学校10周年記念、国田幼稚園50周年の記念式典が開催される。